Chapter 37 : **イワパレス編：岩の脅威**

**イワパレスの覚醒**

シャワーズに逆流させられ、徹底的に恥をかかされた後、イワパレスは落ち込むことなく、昇華した。  
カニから混沌の這い手へと進化し、ポケトピアの新たな脅威となった。  
ゼラオラほど悲劇的ではないが、二倍のトロール精神を持つイワパレスの新たな目標は：全員を壁で苦しめること！

**ウーラオスの道場事件**

最初の不運な犠牲者：ウーラオス。  
静かな道場で、改心したゼラオラと共に瞑想していたところ、突然の「からをやぶる」が静寂と壁を打ち砕いた。  
イワパレスが突進し、二人を狭い隅に押し込んだ。

ウーラオスは静かにお茶をすすりながら言った。  
「この試練を耐えねばならぬ。」

ゼラオラはささやいた。  
「これが昔の俺だったのか？うげぇ…」

イワパレスは高笑いした。  
「次だ！」

**ミライドンのサンドイッチ妨害**

街中をサンドイッチの買い出しで疾走していたミライドンは、予期せぬ事態に見舞われた。  
ドン！  
壁に激突。

イワパレスが道の真ん中に岩の要塞を築き、ミライドンは全速力で顔面から突っ込んだ。  
立ち上がると、イワパレスがちゃっかり手を振りながら言った。  
「サンドイッチはなしだ、警官くん！」

ミライドン：「お前は逮捕…」  
ドン！再び壁。再び衝突。  
サンドイッチ？台無し。プライド？粉々。  
イワパレス？すでに次の標的へ…

**グレイシア、トロールされる**

自宅のアイスクリームスタンドでクーラーを動かしながら鼻歌を歌っていたグレイシアは、湿った岩の匂いに気づいた。  
遅かった。

ドン！  
壁。

イワパレスが彼女を隅に追い込み、さらに悪いことに、かつては助けてくれたナースだったキュワワーが、今や吸血鬼のようなトロールとして登場。  
グレイシアの擦りむいた膝を癒す代わりに、キュワワーは彼女に寄生するように絡みついた。

グレイシアは叫び、二人を凍らせようとしたが、彼らは過熱したヒートパッドを装備していた。  
彼女の服は台無し、氷は溶け、彼女は唸った。  
「夫がここにいないことを感謝しなさい…今はまだ…」

彼らは逃げた。臆病者め。

**リーフィアの復讐**

しかし、イワパレスは調子に乗り、リーフィアをトロールしようとした。  
リーフィアが簡単な草食だと思い、庭を荒らそうとしたが、大きな間違いだった。

リーフィアは「つばめがえし」を繰り出し、トロールのバリアを切り裂いた。  
イワパレスは虫の力で反撃したが、こぼれた肥料の袋につまずき、下水道に落ちた。

敗北。  
臭い。

**下水道でのカビゴンとの会合**

下水道の中で、カビゴンがゴミをむしゃむしゃ食べていた。  
「よう、イワパレス。もう一度バンギラスをトロールしないか？」  
イワパレスはうなった。  
「…いいだろう。」

**作戦：マナーハウスの狂気**

彼らはバンギラスの邸宅のトイレから現れ、石鹸と香水で変装していた。  
しかし…おっと。  
間違ったトイレ。  
女子トイレ。

デカヌチャンが個室を開けて悲鳴を上げ、バンギラスの腕の中に倒れ込んだ。完璧なブライダルキャッチ。  
バンギラスは咆哮し、「すなじごく」を発動し、二人のトロールを砂のサイクロンに閉じ込めた。

イワパレスは砂の要塞を築こうとしたが、カビゴンがその一部を食べ続けた。

バンギラスの腕の中から、デカヌチャンがハンマーを構えて跳び上がった。  
ドカン！  
二人とも穴に叩き込まれた。

**その後**

カビゴン：バンギラスの邸宅で床掃除中。  
イワパレス：再びサンドイッチの買い出しに戻ってきたミライドンに連行された。  
今回は、法が勝った。